



林 薫平 准教授
はやし・くんべい

学歴・職歴 ● 東京大学農学部卒業。福島大学経済経営学類。

地域資源を活用して農村の活性化を

農業と林業を生かして農村を活性化するとともに、地域住民がかかわって多様な形で地域資源を活用する“里山の経済”を広げていきたいと思ひます。また、グリーンツーリズムや農家レストランや直売所マルシェなどの取り組みを通じ、交流人口による経済効果と地域内の資源の循環をかみ合わせるにより、農村地域の新たな活力を生み出していきたいと思ひます。

研究紹介①「農業・漁業における直結〔産直〕型流通、または 協同組合と連帯の経済」

●クローズアップ「福島県漁業の復興に向けた地産地消方式の研究」

(原発事故後の福島県漁業の復興に向けた取り組みの課題を、県内の水産関係者が協議しながら進める「試験操業」のスキームの変遷と、汚染水問題への対処の経過に注目して明らかにし、今後は県内のコブ等との連携による地産地消型の試験販売を重視しながら次のステップに進めるべきであると考え、研究とともに実践を模索中。)

※参考…林薫平「福島復興に果たす協同組合間協同の役割と課題」『協同組合研究誌 にじ』2016年秋号；濱田武士・林薫平〔共編〕「原子力災害下の試験操業の取り組みと漁村の展望」『北日本漁業』45号特集；林薫平「原発災害後の福島の生業再生と地産地消のゆくえー沿岸漁業復興と“もやい直し”の可能性」ふくしま復興支援フォーラム2016年10月報告。

※科研費「震災後の福島県漁業の復興に向けた最適な放射性物質リスク管理手法の構築に関する研究」(2015-18)；福島県商工会館寄付金活動助成採択課題「福島県の沿岸漁業の復興に向けた県内流通の取り組み」(2018-19)。



研究紹介②「農村コミュニティと里山の経済学、または 循環と共生の地域づくり」

●クローズアップ「原発被災地域の避難指示解除後の営農再開と地域再生」

(福島県の原発事故被災地域の避難指示解除後、なりわいと生きがいの両輪による営農再開、資源の循環をとり戻す課題、“生活結合”の観点..)

※参考…林薫平「居住と営農をめぐる規制と解除と地域再生の条件」『都市計画』2014年10月；同「里山里海、森・海連環、そして原発事故以後」『農業と経済』2013年7月；同「原発事故下の福島県の阿武隈地域における避難指示解除と営農再開の一動向ー相馬郡飯館村と双葉郡葛尾村の事例から」『農林金融』2018年3月。

※復興庁「新しい東北」採択課題「二本松市東和町ふるさとの恵みバイオマス協議会一里山再生・森林資源活用スタートアップ事業」委員(2014)。



●クローズアップ「福島県における農業・林業・畜産業の複合化と地域活性化ー里山と循環の経済学の実践」

※参考…林薫平「森林資源を活用して経済循環をつくる」『グリーン・パワー』2018年2月・3月連載；同「植物の力を地域の活力に変えるーバイオマスの経済学入門」郡山公開講座2016年12月報告；同「福島に里山の経済をとり戻す」林業経済学会フォーラム2018年10月報告(予定)。

※福島県森林自己学習プログラム採択課題「会津地域における森・里・湖の資源保全と地域活性化」(2018)。

